

番号	問題と解説
1	<p>通貨オプションの説明として、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>通貨オプションとは、通貨ペアをオプションの原資産とし、一方の通貨を売って、他方の通貨を買う権利である。たとえば円とドルをペアとする場合、円を売ってドルを買うものを、ドルコール／円プットオプション、略してドルコールオプションと呼び、ドルを売って円を買うものを、円コール／ドルプットオプション、略してドルプットオプションと呼ぶ。</p>
1-A	<p>○</p> <p>通貨オプションにおいて、ドルコールオプションはドルを買う権利を売買するオプション、ドルプットオプションはドルを売る権利を売買するオプションです。</p>
2	<p>通貨バイナリーオプションの説明として、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>通貨バイナリーオプションのうち、例えばドル円を原資産とし、円高になればペイアウトを受け取る（当社においては100で清算）権利は、ドル円のバイナリープットオプションと呼ぶ。</p>
2-A	<p>○</p> <p>ドル円のバイナリープットオプションは、権利行使価格より原資産が円高になるとペイアウトを受け取ることができます。</p>
3	<p>オプションの取引手法として、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>将来取得する予定の原資産の値上がりを補うため、原資産のプットオプションを買い付けた。</p>
3-A	<p>×</p> <p>オプションの取引手法として、将来取得する予定の原資産の値上がりを補うため、原資産のコールオプションを買い付ける方法があります。</p>
4	<p>プレーンオプション投資について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>プレーンコールオプションの買いでは、権利行使価格に原資産1単位当たりのオプション料を差し引いた価格が損益分岐点である。</p>
4-A	<p>×</p> <p>プレーンコールオプション買いの損益分岐点は、（権利行使価格＋オプション料）で算出されます。</p>
5	<p>一般社団法人金融先物取引業協会に所属する金融商品取引業者又は登録金融機関が、日本国内で個人投資者向けに取引する店頭バイナリーオプションの取引方法の説明として、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>各業者は顧客との取引に限度額を定めているが、顧客の一定期間の取引額や損失額、顧客が保有する建玉が基準を超えた場合であっても、顧客との取引を中断あるいは中止することはない。</p>
5-A	<p>×</p> <p>一般社団法人金融先物取引業協会「個人向け店頭バイナリーオプション取引業務取扱規則」において、取引限度額が基準を超えた場合、業者は顧客との取引を中断あるいは中止することとされています。</p>

番号	問題と解説
6	<p>次の文章について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>プットオプションにおいて、原資産の価格が権利行使価格を上回っている状態をアウトオブザマネーという</p>
6-A	<p>○</p> <p>プットオプションにおいて、原資産の価格が権利行使価格を上回っている状態をアウトオブザマネー、下回っている状態をインザマネーといいます。</p>
7	<p>一般社団法人金融先物取引業協会に所属する金融商品取引業者及び登録金融機関の取り扱う、個人向け店頭通貨バイナリーオプション取引に関し、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>店頭通貨バイナリーオプション取引では、取引期間中の為替レートが一方向に想定以上に動板場合に、取引期間の途中であっても、当該回号に権利行使価格を追加することができる。ただし、権利行使価格が追加された場合であっても、それまで利用した権利行使価格は引き続き取引を行い、またその取引価格が、権利行使価格の追加の影響を受けることはない。</p>
7-A	<p>○</p> <p>一般社団法人金融先物取引業協会「個人向け店頭バイナリーオプション取引業務取扱規則」において、権利行使価格の追加設定の規定が設けられています。</p>
8	<p>次の文章について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>通常、店頭バイナリーオプション取引契約では、取引契約成立（約定）後、一定期間まではクーリングオフを行うことができる。</p>
8-A	<p>×</p> <p>店頭バイナリーオプション取引契約成立（約定）後においてクーリングオフを行うことはできません。</p>
9	<p>オプションの売り手の権利・義務について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>オプションの売り手は、買い手が権利行使を放棄した場合でも、買い手からオプション料を受け取ることができる。</p>
9-A	<p>○</p> <p>オプションの売り手は、買い手が権利行使を放棄した場合でも、買い手からオプション料を受け取ることができます。</p>
10	<p>一般的なバイナリーオプション取引の損益について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>バイナリーオプションの買い手の最大損失額はオプション料であり、売り手の最大損失額はペイアウト額からオプション料を差し引いた額となる。</p>
10-A	<p>○</p> <p>一般的なバイナリーオプションの最大損失額は、買い手はオプション料、売り手は（ペイアウト額－オプション料）となります。</p>

番号	問題と解説
11	<p>同一の資金で投資した場合のバイナリーオプションとF X取引を比較した文章として、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>投資者に不利な方向に動いた場合には、バイナリーオプションが投資額を全額失うのに比べ、F Xは投資額の一部が残る場合があるので、一概にバイナリーオプションが有利とはいえない。</p>
11-A	<p>○</p> <p>投資者に不利な方向に動いた場合には、バイナリーオプションが投資額を全額失うのに比べ、F Xは投資額の一部が残る場合があるので、一概にバイナリーオプションが有利とはいえません。</p>
12	<p>次の文章について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>店頭バイナリーオプション取引の場合、相対取引のため、金融商品取引業者等が破たんすると、オプションの条件がインザマネーになっていたとしても権利行使が行えない可能性がある。</p>
12-A	<p>○</p> <p>店頭バイナリーオプション取引の場合、金融商品取引業者等が破たんすると、オプションの条件がインザマネーになっていたとしても権利行使が行えない可能性があります。</p>
13	<p>原資産の金利の変化がオプション価格に与える影響について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>コールオプションの価格は原資産の金利が低くなると下がるが、プットオプションの価格は、原資産の金利が低くなると上がる。</p>
13-A	<p>○</p> <p>原資産の金利が低くなると原資産の調達コストが下がると同等となるため、コールオプションの価格は下がりますが、プットオプションの価格は、原資産の金利が低くなると上がります。</p>
14	<p>一般的なオプションの価格変化について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>インザマネーのオプションでは、原資産価格が権利行使価格から離れるほど、オプション価格は高くなる。</p>
14-A	<p>○</p> <p>インザマネーのオプションでは、原資産価格が権利行使価格から離れるほど、権利行使される確率が高くなるため、オプション価格は高くなります。</p>
15	<p>一般的なオプションの価格変化について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>原資産の予測される価格変動率が高いほど、オプションの価格は低くなる。</p>
15-A	<p>×</p> <p>原資産の予測される価格変動率が高いほど、オプションの価格は高くなります。</p>

番号	問題と解説
16	<p>オプション価格の構成要素とされる時間的価値の説明として、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>時間的価値は、オプションの権利行使期限までの時間が短くなるほど減少する。</p>
16-A	<p>○</p> <p>時間的価値は、オプションの権利行使期限までの時間が短くなるほど減少し、最終的にはゼロになります。</p>
17	<p>一般的なバイナリーオプションの価格について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>バイナリーオプションの価格はペイアウト価格（当社においては100ポイント）を上回ることはない。</p>
17-A	<p>○</p> <p>バイナリーオプションの価格はペイアウト価格が上限となっています。</p>
18	<p>インプライドボラティリティについて、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>オプションを含め、デリバティブ取引における理論価格の計算に用いられるボラティリティには、ヒストリカルボラティリティとインプライドボラティリティの2種類のボラティリティがあるが、このうちインプライドボラティリティとは、原資産に対する将来の変動率を予測したボラティリティのことである。</p>
18-A	<p>○</p> <p>原資産に対する過去の変動率の実測値に基づくボラティリティをヒストリカルボラティリティ、原資産に対する将来の変動率を予測したボラティリティをインプライドボラティリティといいます。</p>
19	<p>次の文章について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>オプション価格の理論式として、ブラック・ショールズ・モデルが広く用いられている。</p>
19-A	<p>○</p> <p>オプション価格の理論式として、実務上ブラック・ショールズ・モデルが広く用いられています。</p>
20	<p>次の文章について、正しければ○、誤っていれば×を選択。</p> <p>バイナリーオプションの理論価格計算には、ブラック・ショールズ・モデルを修正した計算モデルが広く用いられている。</p>
20-A	<p>○</p> <p>バイナリーオプションを含むオプションの理論価格計算には、ブラック・ショールズ・モデルを修正した計算モデルが広く用いられています。</p>